

サロベツ湿原センター木道の草花



サロベツ湿原センター Sarobetsu Wetland Center

〒098-4100 北海道天塩郡豊富町
上サロベツ 8662 番地
MAIL center@sarobetsu.or.jp
TEL 0162-82-3232
FAX 0162-82-1009

入館料 無 料

開館時間
5月～10月 / 9:00～17:00
休館日: なし
11月～4月 / 10:00～16:00
休館日: 月曜(祝日の場合は翌火曜)
年末年始(12/29～1/3)



サロベツ湿原センター

<http://www.sarobetsu.or.jp/swc/>



環境省 北海道地方環境事務所 HP <https://hokkaido.env.go.jp/>
利尻礼文サロベツ国立公園 HP <https://www.env.go.jp/park/rishiri/>

2025.2



利尻礼文サロベツ国立公園

サロベツ 湿原 センター



環境省
Ministry of the Environment

SAROBETSU WETLAND CENTER

ようこそ、日本最大級の高層湿原へ！

サロベツってどんな意味？

サロベツという地名は、昔アイヌの人たちがこの地域をサル・オ・ベツと呼んでいたことに由来します。日本語に訳すと湿原を流れる川という意味になります。

サロベツ湿原はどんなところ？

1万年ほど前、サロベツ周辺は海とつながる大きな湖でした。そこに生えた植物が枯れて、分解されないまま泥炭となって積み重なり、6千年以上の年月をかけてできたのが今の湿原です。面積は約6,700haあり、日本で3番目に広い湿原です。特に低地における高層湿原としては日本一の規模を誇ります。多くの渡り鳥が飛来するなど生き物の宝庫であり、世界的にも重要な湿地（ラムサール条約湿地）に登録されています。

自然再生ってなに？

サロベツでは、湿原の乾燥化によって本来生えていなかったササが広がるなど貴重な自然が失われてきています。そのため、湿原の再生を図り、人と自然が共存する地域づくりを目指す様々な取り組みが進められています。

木道で出会える動物たち



しゅんせつせん かつて湿原から泥炭を採掘するために使用された浚渫船を展示しています。



サロベツ湿原センター

サロベツ湿原の玄関口として、自然の見どころや、原野開拓の歴史などについてわかりやすく紹介しています。展示エリアでは「人と自然の共生」をテーマに、サロベツ湿原の自然、人文、歴史などについて、また自然再生の目的や取組など様々な情報を提供しています。

わからないことはスタッフに聞いてね

車椅子、オストメイト対応の多目的トイレ、おむつベットのあります。

どなたでも自由にのびのびと遊ばせてあげたい

泥炭産業館

かつてこの場所で行われていた泥炭採掘の歴史を、実際に使われていた機械類や当時の映像などで紹介しています。



水質浄化湿地

湿原センターなどから出る水に含まれる栄養分は湿原の環境を変えてしまうので、4段階の浄化湿地を通して浄化しています。